

日本共産党のおだぎりたかしです。先ず、今月17日開催の第31回、全国中学校駅伝大会に流山市立常盤松中学校が本市からは初めて、出場することになりました。選手をはじめ関係者のみなさんに心よりお祝いを申し上げますとともに、大変緊張すると思いますが、これまで培った努力は裏切りません。十分発揮されることを心より祈念いたします。

また保護者、PTA、学校関係者、また市内全域から、本市の代表団を大いに送りだしとともに、結果にかかわらず、胸を張って笑顔で帰ってこられるよう最後までのご声援とご支援を心よりお願いいたします。

それでは通告に従い、大きく3点、一般質問を行います。

まず第1、市長の政治姿勢として、2点お聞きします。

まず(1)来年度の予算編成方針について、関係がありますので、以下2点、一括してお聞きします。

ア、令和6年度どのような点に留意しつつ、政策上、どのような事業を最優先課題としているのでしょうか。特に、世界的パンデミックと半世紀ぶりの物価等の高騰の下でも、巨額な積立を実行し、なおかつ大幅な黒字を生み出している財政状況がある一方、生活の厳しさが増し、追い詰められている感を強めている市民生活の日々の実感からすれば、福祉の増進の実感が近隣市と比較しても不十分さを残していると捉えていますか、どう捉えていますか。

またイ、令和5年第1回定例会予算審査特別委員会や第3回定例会決算審査特別委員会の指摘要望事項(議会全体の合意事項)をどのように反映するべく、協議していますか？市長の答弁を求めます。

次に(2)非正規雇用の処遇改善についてです。

経済の長期停滞の大きな要因の一つに、賃金が変わらない実態があります。その背景には、非正規雇用者の拡大と、それに付随する低賃金構造の拡大や性差による処遇格差が指摘されています。私たち日本共産党は、社会全体で解決することが求められているという立場から、今年10月、『非正規ワーカー待遇改善法』の提案～パート、派遣、契約社員、非正規公務員、ギグワーカーの皆さんへ 明日に希望が持てる、人間らしい労働条件とジェンダー平等の働き方の実現へ』という政策を発表しました。

そこでまず市長にお聞きします。賃金が変わらない日本の現状の背景に大きく広がっている非正規雇用、しかもその7割が女性であり、男女賃金格差の要因にも起因している現状や、若年層でワーキングプアが拡大し、国民年金保険料すら納められない層の広がり、悲しいことに奨学金を払いきれず、自己破産や自らの命まで失う実態を、市長としてどう捉えていますか？見解を求めます。

全国的にも、各自治体でも、非正規雇用が広がる下で、流山市だけで解決できるものではありません。しかし本市の非正規雇用職員に対する処遇改善は本市の姿勢次第です。井崎市長就任か

ら20年間、正規職員数は、県内35市中、人口比で最小規模のとなり、柏市や松戸市と比較しても数百人規模で少なくなる一方、非正規雇用は3倍近く拡大してきました。しかもその大半は女性で、時給も大半が1,500円にも届かない実態があるのではないのでしょうか。

そこでお聞きします。本市非正規雇用の総数は現在何人（R4：984人）いますか、そのうち女性の割合は何（829人・84.2%）%ですか、非正規雇用の職種は、本市の場合93種類もあり、事務を補助する業務にとどまらず、「学校教育に関する基本的及び専門的事項の調査、研究及び指導を行う指導員」、「社会福祉の包括的な相談支援員」、「家庭からの相談業務や調査・指導等の児童福祉に関する業務の支援員」など高度で、恒常的に必要な専門業務まで非正規雇用が支えているという認識で良いですか？お答えください。

また、非正規雇用の市職員の処遇に関連して、R2年度（2020）年度からスタートした会計年度任用職員という制度上、来年度末で5年目を迎え、現職として働いている人が、いったん雇止めとなり、継続を希望する人は、再度の「公募」に応じなければならないという、大量の「雇止め／公募」が見込まれますが、本市はどう対応するのですか？さらに今後の処遇改善についてどう図るのか、お答えください。

第2、環境行政として、事業系ごみの出し方の見直しに絞ってお聞きします。

来年4月1日から、事業系ごみの出し方を変更するべく、現在、周知する取り組みを担当課が実施していますが、ごみの収集事業者からも、ごみを排出する事業者からも、知れば知るほど不満や異論の声が寄せられています。また関係するにもかかわらず、自治会等の団体からはまだ一つも問い合わせがきていませんので、周知が不十分と捉えています。そもそも率直に現時点では、出し方を見直す目的も、その効果も、変更点も、変更に伴う実務手続きも十分な周知が図られず、家庭ごみへの指定袋導入後同様、大きな混乱と不満の鬱積が強く予見されていることから、市はどのように捉え、今後どういう取り組みを行うのか、見解を求めます。

第3、中部地域のまちづくりとして、初石駅についてお聞きします。

(1) 駅橋上化工事の供用開始は、当初の令和6年12月末から、令和7年3月末へ遅延してきました。しかし、現場の実態からさらなる遅延が生じかねないと捉えています。そこで、現状ではどのような協議が東武鉄道株式会社と行われているのか、お答えください。